

全国農業図書がお勧めする「農業経営者向け図書等」

令和 2 年 9 月
(一社)全国農業会議所出版部

(価格はすべて10%税込・送料別)

1. 【パンフ】令和2年度 経営所得安定対策と米政策

(31-39 A4判 16頁 110円)

「新たな米政策」が始まり、農業者(産地)の主體的な判断による需要に応じた生産・販売の推進が行われています。提供される情報や政策支援を活用して、より一層、需要に応じた生産に主体的に取り組む必要があります。備蓄米への引き続きの取り組みも重要です。

飼料用米や麦、大豆等戦略作物への取り組みも重要。水田フル活用、水田農業高収益化の推進に向けた支援を活用しましょう。また、数量単価の改定が行われたゲタ対策や、ナラシ対策、収入保険制度などの仕組みとメリットを周知し、加入推進することも大切です。本パンフレットは、これらの制度についての普及啓発資料として幅広く活用できます。



2. 簿記

①「わかる」から「できる」へ 複式農業簿記実践テキスト

(R02-05 A4判 138頁 1,700円)

簿記の学習のヤマ場といわれる「仕訳」については、多くの仕訳例を掲載。実際の簿記相談に裏打ちされた仕訳例は読者の手元で即戦力となります。記帳のイロハから実務まで網羅した手引書として、初心者や実務経験者の心強い味方になる一冊です。



②記帳感覚が身につく 複式農業簿記実践演習帳

(27-23 A4判 48頁 418円)

都道府県農業会議の簿記指導のノウハウを集積し、複式農業簿記実践テキストの姉妹書として作成。問題と回答を本冊に収録し、記述できる回答は別冊とし、切り離して利用できるようになっています。



③改訂8版 はじめてのパソコン農業簿記 ソリマチ(株)「農業簿記11」体験版CD-ROM付 (31-36 A4判 167頁 3,000円)

ソリマチ(株)の農業簿記ソフト「農業簿記11」に対応した最新版。前半で簿記の基本、後半でパソコン簿記を学習できるよう構成した演習用テキストで、パソコン簿記を始めた人に最適の入門書です。



④2019年版 青色申告から経営改善につなぐ

勘定科目別農業簿記マニュアル (31-37 A4判 233頁 2,160円)

企業会計に即して記帳する場合のポイントを勘定科目ごとに整理しており、「わからないとき」に必要な部分が参照しやすく、農業簿記の“辞典”として活用できます。記帳の中から自己の経営をチェックする方法も解説した本書は、経営の改善につながる農業簿記の実務書として、研修会のテキストとして適しています。また、最新の申告書や決算書に基づく記入例も掲載。2019年10月から導入された消費税の軽減税率の取扱いも記載。執筆者は税理士の森剛一氏。



3. 税制

①令和2年度版 よくわかる農家の青色申告

(R02-21 A4判 123頁 830円)

青色申告制度、申告の手続き、記帳の実務、確定申告書の作成から申告までを網羅、各種様式の記入例をまじえて、ていねいに解説した最新版の「入門書」です。令和2年度版は、消費税10%への引き上げと軽減税率や最新の記入例を掲載。あわせて「農業者(個人)の令和2年度所得税の改正のあらまし」も載せています。



②令和2年度版 農家のためのなんでもわかる農業の税制

(R02-14 A5判 185頁 1,140円)

農業収入や農地等に係る所得税、法人税、相続税、贈与税のほか、消費税とその軽減税率制度の概要と解説も掲載。農業関係の税金を、農地集積・集約化、後継者対策など経営発展を後押しする特例措置など最新の税制を網羅して、わかりやすく解説しています。第2部の「農地税制Q&A」では、照会の多い質問にていねいに答えています。



③一問一答集 新訂版 農家の所得税 (27-29 A5判 405頁 2,954円)

所得税に関する計算の仕組みや手続きのうち、農家に関係の深いものを問答式で説明しています。日常の農業経営の中で関係すると思われる疑問を網羅的に取り上げ、設問や配列にあたっては所得税の全容の理解に役立つように配慮してあります。マイナンバー(社会保障・税番号制度)のほか、住宅取得等資金や教育資金の贈与、NISA(少額投資非課税制度)なども新たに盛り込みました。



④【リーフ】改訂2版 農地等の相続税・贈与税納税猶予制度をご存じですか (31-23 A4判 8頁 90円)

相続税・贈与税納税猶予制度の概要、相続税納税猶予額の計算例などを解説、相続時精算課税制度も収録。平成31年税制改正の「事業承継税制」の創設を反映した最新版の農業者向けリーフレットです。



4. 家族経営協定、年金、認定農業者、農業法人化

①【パンフ】「家族経営協定」で新しい時代をひらく

(31-32 A4判 12頁 160円)

農業経営や暮らしの現状確認を出発点に、世代や男女を問わず対等な立場で話し合い夢を実現する「家族経営協定」づくりのポイントや制度上のメリットを、東京農業大学の五條満義准教授が農家向けに書き下ろしたパンフレットです。5年ぶりにリニューアル。



②【リーフ】2020年度版 農業者年金-年金の仕組みとメリット

(R2-12 A4判 8頁 90円)

少子高齢時代を先取りした農業者年金制度の魅力やメリット、政策支援を受ける要件などを紹介した、加入推進用の農業者向けのリーフレットです。



③【パンフ】人生100年時代 農業者年金で安心の備えを！10話

(30-22 A4判 12頁 160円)

農業者年金の良さをファイナンシャル・プランナーの立場から、10話にわけてやさしく解説しました。農業者が読んで「なるほど納得！」という、気軽に読める12ページの小冊子です。



④【リーフ】地域農業の担い手 「認定農業者」

～制度が変わり、申請がしやすくなります！～

(R02-13 A4判 12頁 110円)

認定農業者制度の概要やメリットを伝え、認定農業者になることを勧めるリーフレットです。認定農業者になるための要件や、なった場合の主な支援措置、「全国優良経営体表彰」の経営事例等を紹介。



⑤【リーフ】農業経営を法人化しませんか？(30-36 A4判 6頁 75円)

家族経営の法人化や集落営農の法人化の意義に始まり、会社法人と農事組合法人の違いを比較表で明示。農地所有適格法人の4つの要件を解説しつつ、解除条件付き貸借による一般法人の農業参入の要件も簡潔に示しています。法人設立の手順も図示。信用力の向上や人材確保、販路拡大、税制特例など法人化のメリットと義務負担についても解説しています。農地所有適格法人制度と農業経営の法人化の概要を1枚で説明できるリーフレット。



⑥Q&A 農業法人化マニュアル 第4版 (28-19 A4判 93頁 897円)

法人化のメリット、法人の設立の仕方、法人化にともなう負担などの疑問に答え、法人化するかどうか、法人設立の方法などを一問一答形式でわかりやすく解説しています。



5. 新世代の農業挑戦－優良経営事例に学ぶ－ 叶 芳和 著

(26-14 新書判251頁 1,121円)

農業は「成長産業」という著者が、先進的な農業経営体の開拓者精神と情熱、哲学、経営スピリッツに迫り、その強さの秘密を解き明かす、農業経営事例研究の書。急速に規模拡大が進む日本農業の現状を踏まえ、農業・農村の最前線を取材し、様々な経営類型での技術革新や経営改善の取組を紹介します。農業経営者に元気を与える一冊です。



6. 改訂 新・日本農業の実際知識 羽田 實／折原 直 改訂共著

(28-42 新書判214頁 1,019円)

初版から12年。新たなデータを追加・更新して「日本農業の本当の姿」を解説しています。マスコミによる日本農業に対する多くの誤解や経済界・農業界の疑問に対して明快に回答。TPP問題にも言及しています。



7. 実践型農業マーケティング 平岡 豊 著

(18-20 新書判179頁 837円)

「農業マーケティングを成功させるには、経営形態と目指すべき方向を見極めて、適切な顧客層と流通チャンネルを明確にすること」(第1章マーケティングの基礎知識より)。農業分野におけるマーケティングの第一人者・平岡豊氏が、フィールドワークによって得た豊富な実例を紹介するとともに、実践的な農業のマーケティングについて述べています。



8. 多視点型農業マーケティング 平岡 豊 著

(26-30 新書判197頁 950円)

農業マーケティングの先駆者である平岡豊氏が「実践型農業マーケティング」の続編として著した最新刊。日本農業はこれまで「単視点的」発想での施策が多かったのではないかと問いかけ、新たな視点で現状を見直し、打開策を見い出すよう意識改革を促します。全国農業新聞への連載「マーケティング・アイ」から選りすぐりのコラム77件を掲載。

